

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.22

発行：リニア新幹線を考える相模原連絡会 2014.07.30

「着工認めるな！」のアピール採択

7.21「リニア新幹線沿線住民ネットワーク」全国交流集会（静岡市）

7月18日、JR東海のリニア新幹線計画・環境影響評価書に対して太田国土交通大臣意見が提出されました。JR東海はこの意見を受け評価書を修正し、10月着工をめざし工事認可申請の準備を進めています。7月21日、東京から名古屋までのリニア新幹線沿線住民グループは静岡市で全国交流集会を開き、各リニア沿線地域の現状と活動を報告、国土交通省はリニア着工認可を下すなというアピールを全員一致で採択しました。

（裏面にアピール文一部掲載）

「リニア相模原連絡会」の浅賀代表は、地下水へ影響ができれば死活問題となるリニア沿線の造り酒屋や豆腐製造などの事業者に対してもこれまでJR東海や市から一度も説明がないなど、多くのリニア沿線住民にリニア計画の問題が知らされていない実態を報告、生存権・生活環境を破壊するリニア計画の凍結を訴えました。



相模原のリニア計画予定地を田村・辰巳両参院議員が視察

～7/17「リニア相模原連絡会」が案内～

日本共産党の田村智子、辰巳孝太郎の両参院議員が相模原市に計画されている三つの予定地の県立相原高校（橋本中間駅）、小倉（変電施設）、鳥屋（車両基地）を視察し、地域住民との懇談と関係者の声を聞き取りました。相原高校では「移転によって豊かな土壌と緑地が失われる」「近隣の園児たちの自然観察、動物たちとの触れ合いの場なくなる」、小倉では「住宅への電磁波の影響が心配」「高架橋で景観が悪くなる」、鳥屋では「立ち退きにより地域のコミュニティが壊れる」「工事による地下水への影響が心配」などの訴えがありました。



県立相原高校（市民も利用、通り抜けできる中央道）

リニアカフェ

無料

9月2日（火）
午後2時～4時30分
場所：橋本公民館ミーティング室
（橋本駅北口 イオン6F）

リニア駅建設で
橋本のまち、
住民の生活環境は
どう変わる？

お茶とお菓子でなごやかに！
ご都合のつく時間にどうぞ。
お待ちしております！

主催：リニア新幹線を考える相模原連絡会

共催：教育と緑ある橋本の町づくりを考える会 連絡先：桜井 042-773-7064

市は JR 東海に納得のいく 説明をさせること

★7/9、相模原市に要望書を提出

「リニア相模原連絡会」と「教育と緑ある橋本の町づくりを考える会」は“相模原市は自治体の役割である、市民のいのちと生活を守る責任主体としてリニア建設にともなう多岐にわたる問題点と不明点に事業主体である JR 東海に納得のいく説明をさせるとともに、市のリニア促進の目的をもあわせて、納得のいく回答を求める”内容の要望書（6項目）を提出しました（回答期限 7 月末まで）。

また、東海地区の一部自治体ではリニア計画による立ち退きの規模を示していることを説明し「相模原市は情報開示が遅れていることに危機感を持ってほしい」と訴えました。



「生活への影響開示を」
市グループ 相模原市に要望書

環境影響評価（アセスメント）手続きが最終段階にあるJR東海のリニア中央新幹線計画について、市民グループが9日、相模原市に要望書を提出した。六つの視点から建設事業による生活への影響などをJRに質問するよう求めた。要望書を提出したのは、計画の安全性確認を求める

市民グループ「リニア新幹線」を前に要望書を読み上げるメンバー（奥）
—相模原市役所

環境影響評価（アセスメント）手続きが最終段階にあるJR東海のリニア中央新幹線計画について、市民グループが9日、相模原市に要望書を提出した。六つの視点から建設事業による生活への影響などをJRに質問するよう求めた。要望書を提出したのは、計画の安全性確認を求める

またリニアが従来型新幹線に比べて電力を要する点も示していること

要望書提出記事 神奈川新聞 7/10付

7/9、JR 東海 環境保全事務所(神奈川)に行ってわかったこと

■鳥屋の車両基地

- ★年間 CO₂ は排出量は 12,000 トン。
- ★ボイラーの年間稼働日数は 365 日。
- ★給水の計画はまだ決まっていない。

■橋本中間駅建設

東橋本側の残土トラック搬出ルートは東橋本 1 丁目交差点⇒JR 横浜線踏切⇒小山中学校・小学校前⇒医療少年院前⇒国道 16 号へ

● リニア計画への疑問など、なんでも聞いてみよう!

JR東海 環境保全事務所(神奈川)
連絡先: 042-756-7261
受付日時: 平日9時~17時
(土・日曜日、祝日等を除く)
※訪問する場合は事前に連絡
相模原市中央区相模原4-3-14
相模原第一生命ビル4F
(JR相模原駅南口 徒歩5分)

7.21アピール「着工認めるな！」

環境大臣は意見の前文で、「リニア事業は、関係する自治体と沿線住民の理解なしには実施することは不可能である」と述べています。理解できないどころか、リニア新幹線に対する自治体や住民の不安や疑問を訴える声は高まるばかりです。拙速に工事着工を認めることは、沿線住民を裏切るだけではなく、将来の世代に取り返しのつかない代償を負わせることとなります。

私たちは本日の集会の名のもとに、国土交通大臣がリニア新幹線の着工を認めないよう強く求め、アピールとします。 リニア新幹線沿線住民ネットワーク全国交流集会参加者一同

★アピール全文は以下より入手してください。

リニア東京・神奈川連絡会 HP (7.21 静岡全国集会報告 .pdf) <http://web-asao.jp/hp/linear/cat309/>



★ 活動は市民の募金で維持しています、ぜひご協力をお願いします。
郵便振替口座: 00240-7-71305 口座名: リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者: 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本 2-6-2 (TEL: 090-4378-9257)
編集責任: 中野渡 旬 相模原市緑区東橋本 3-19-8-309 (TEL, FAX: 042-712-7077, mail: MHA01005@nifty.com)